



新そばシーズンがやってきた!!

日本列島縦断、十割新そば食べ比べ
注目は青森県階上町の「階上早生」

いよいよ、新そばシーズンが到来した。そば酒房「福島」では北海道から九州まで、全国約50カ所の地粉を紹介しており、品種も粉の挽き方も異なる各地の十割そばの食べ比べができる。そば好きにはこたえられない季節である。なかでも、今年の注目は青森県階上町の十割そばだ。



(右)階上町がそば栽培をはじめた頃の手刈りによるそばの収穫風景。今ではコンバインを使っている
(左)つかしいそばの乾燥作業の風景。作付面積64%の現在では、専用の施設で乾燥作業を行っている

特定非営利活動法人
ふるさと往来クラブのご案内
自治体や生産者とのコラボによる
アンテナショップを都心・神田で運営

1988年、任意団体として設立された。2000年、特定非営利活動法人として内閣府の認証を受け、以来、全国のふるさとに呼びかけ、都市（ふるさと）と農山漁村（ふるさと）の交流と往来による地域経済の活性化を推進してきた。活動拠点は都心、千代田区神田錦町（大手町の隣接地）の飲食店スタイルのアンテナショップ、そば酒房「福島」。現在、7市町村の自治体、生産者とコラボし、「おいしいふるさと」をPRしている。◎NPO法人ふるさと往来クラブ ☎03-3518-8841

階上町に伝わる
十割そば料理を提供

階上町のそばの品種は「階上早生」。甘くて豊かな風味、特有の粘りがあるのが特徴で、青森県の推奨品種にもなっている。

この在来種は寒さに強く、江戸時代に凶作、飢饉から人々の命を救った作物として、階上町では代々、大切に守られてきた。

このそば栽培史も含めて、ふるさとに伝わる「階上早生」の食文化を伝えていくと、そば酒房「福島」では、在京のふるさと応援団、ふるさとのはしかみ会とコラボ。この新そばシーズンを皮切りに、毎月22日と定めている「階上の日」に、階

今秋の新そば提供の案内

秋は新そば。食べないこと。
※新そばは、収穫後、乾燥し、11月10日～16日まで提供予定です。

階上早生 新そば

10月24日(土)～提供スタート!
そば酒房「福島」11:00～16:00まで

<p>そば酒房「福島」</p> <p>〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-4</p> <p>☎03-3518-8841</p>	<p>ふるさと往来クラブ</p> <p>〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-4</p> <p>☎03-3518-8841</p>
---	--

上の郷土料理と「階上早生」を使ったそば料理をメニューとして提供していく。

階上の人々が昔から親しんできたそばがき、そばきり、そばかけなどの食べ方から、「福島」流のそば団子汁、お汁粉なども提案していく予定です。

スタッフは「江戸前そば」発祥の地、神田錦町からふるさとで受け継がれてきた十割そば文化を発信するこ

とで、地域の活性化にもつなげたい」と張り切っている(下記「交流市町村マンスリー」参照)。

ふるさとトピックス

北海道在住のお客さんからスマホで洞爺湖の夕景だより

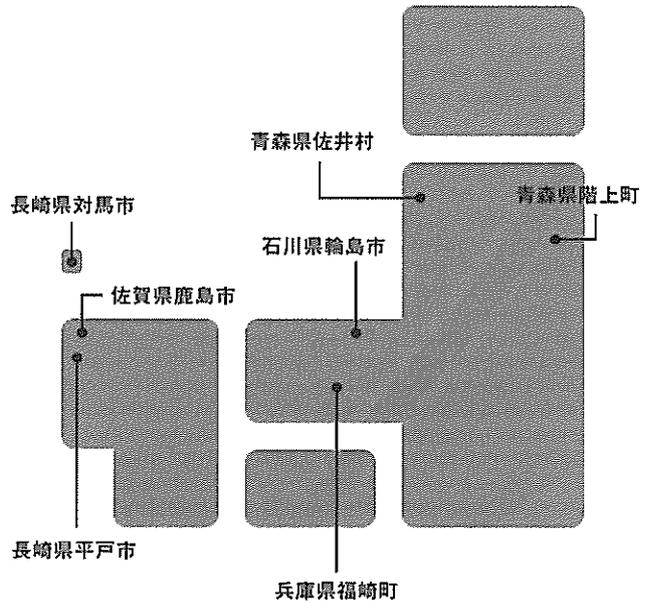
以前は東京勤務で、現在は北海道・洞爺湖町に住んでいる当店「福島」のお客さんから、秋の洞爺湖の夕景だよりが届いた。湖の上に広がる茜雲が何とも美しい。「思わずスマホで撮りました。景色のお裾分けです」と。ただいま店内で掲示中。お客さん大いに癒されているようだ。



内浦湾より洞爺湖を望む

**そば酒房「福島」
交流市町村マンスリー**

ふるさとフードエイド、
ふるさとを食べもので応援しよう!!
ニッポンをトコトン食べよう!!



●「がんばろう、ふるさと応援隊チケット」発売中!
好評につき、「ふるさと応援隊チケット」の販売を延長しております。そば酒房「福島」で飲食券、買物券としてお使いいただけます。利用期限は2021年の3月末日。一口1万円(1000円チケット12枚綴り)。お気軽にスタッフにお申し付けください。

——青森県佐井村——
秋になると注文がふえる
「とろろ昆布十割そば」

10月中旬、そばメニューも夏から秋に衣替え。とりわけ人気が高いのが、佐井村産のとろろ昆布を使った「とろろ昆布十割そば」だ。

特徴は津軽海峡の真昆布と、粘りのあるがごめ昆布を合わせていること。だから「風味がよくて粘りのある食感がクセになる」。しかも「そばの上には昆布がタップリのついで、ヘルシー感このうえない」

と好評だ。「福島」特製のそばだしも人気で、つゆを一滴残さず飲み干してしまうというそばファンも。とろろ昆布は、このとろろ昆布十割そばの注文が急増している。



適度な塩分と粘りで人気!

——青森県階上町——
そば焼酎の塩サイダー割、
よもぎ餅をプレゼント

今年、階上町は町制40周年を迎えた。これを記念し、在郷のふるさと応援団「ふるさととはしかみ会」は、そば酒房「福島」が定めている「階上の日」(毎月22日)に来店するお客さんに町自慢のプレゼントを提供する。

まずは、地元でも評判のつぶあん入りのよもぎ餅、隠れたロングセラーの逸品だ。ついで、そば焼酎「早生の恵み」

の塩サイダー割を一杯! 実は「早生の恵み」、以前からソーダ割が人気で、地元発の新商品「塩サイダー」とはバツグンの相性だとか。
このプレゼント、10月、11月、12月の「階上の日」に、3回にわたって提供される。新そばに加え、さらに楽しみが増えそう。



(右)町制40周年の記念企画を話し合う「ふるさととはしかみ会」



(左)階上町が地元の小学生とコラボして開発した地サイダー「どございだ〜ハマさいだ〜」